

2 巻頭言

特集論文

6 アメリカ文学のわからなさの起源をさがして

加藤雄二

18 推理小説の枠を超えて

——『ヴァロンゴ埠頭の犯罪』における記憶・歴史・霊的知——

武田千香

41 The Mandate of the Divine:
Rethinking Religiosity in Modern South Asian
Political Poetry and Songs

シェーク・タリク

特集エッセイ・随筆

57 オペラが生み出される

——多和田葉子×細川俊夫×クリスティアン・
レートによる『ナターシャ』初演によせて

山口裕之

書評

—— 訳者よりひとこと

82 マリオ・バルガス＝リョサ著

『激動の時代』

マリオ・バルガス＝リョサ『激動の時代』を

翻訳して

久野量一

84 多和田葉子著

『遠くから来たきみの友だち』

言葉と音楽の空間

山口裕之

86 編集後記

報告 (2025 年活動報告)

66 連続対話シリーズ

『地球の文学』 東南アジアのことばが奏でる詩
——タイとベトナムの表現世界

(野平宗弘、コースィット・ティップティエンボン)

69 講演会

「韓国におけるドイツ文学の翻訳と受容
——多和田葉子の作品を中心に」

(岡田莉子)

72 特別講演

「The Tradition and New Perspectives of Ukrainian
Poetry」

(古宮路子)

75 講演会

「リトアニア・ロマン主義文学における感情の生態学」

(栗生田杏奈)